

地域密着型金融推進計画の進捗状況(平成22年4月～平成23年3月)

項目	具体的な取組み	進捗状況 22年4月～23年3月	備考
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化			
(1)事業再生に向けた積極的取組み	・岡山県中小企業再生支援協議会や中小企業診断士協会と連携し、企業の事業再生に積極的に取り組んでまいります。	現在、該当する取引先企業はありません。	
(2)創業・新事業支援	・「創業・新事業支援事後モニタリング」や外部機構と連携し、創業・新事業支援を積極的に推進するとともに、支援機能の強化を図ります。	既存の新規事業事後モニタリング先4先については大口先でもあり、継続的なモニタリングを行い、計画との乖離要因を分析検討し乖離が大きい場合には計画修正を行うなどの指導を行いました。 平成22年度の新規支援先は1先の実績となっております。	
(3)経営改善支援	・金庫営業店単位にて、実抜計画策定可能先のリストアップを行い、「経営改善計画書」の策定支援及びモニタリングを行っています。	経営改善支援先25先を平成22年度支援先とし、原則毎月のモニタリング実施を行い、改善計画進捗管理及び改善にむけたコンサルティング機能強化を図りました。 経営改善支援先の内1先を除きランク変更の実績はありませんでした。(1先破綻懸念先にランクダウン)	
2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底			
(1)目利き能力の向上と事業価値を見極める融資態勢	・目利き能力や経営改善支援のスキルアップを目的とした人材育成を行います。	外部研修の実施については、平成22年度2名が「企業再生支援講座」を受講しました。また「目利き研修講座」や「融資推進講座」なども6名が受講しました。個人向けの資金運用・相続・税金などの相談に乗れるように「ファイナンシャルプランナー講座」も3名受講しました。	
(2)担保・個人保証に過度に依存しない融資の推進	原則無担保・第三者保証不要の「経営改善発展資金【ヒット】」「企業活性化特別融資【はばたき】」「商工会議所並びに商工会 会員向け特別融資制度」を推進します。また、平成22年4月より「びん企業特別融資サポート」を販売、23年3月には東北地方の震災で影響を受けている方へ「びん災害復旧支援資金」の取り扱いを開始しました。	22年の新規実行については、はばたき 6件、52百万円の実績です。22年度末の残高は、はばたき 111件、462,209千円、ヒット 19件、21,432千円、商工会会員向け融資は17件、26,091千円の残高となっております。	
3. 持続可能な地域経済への貢献			
(1)ビジネスマッチングの開催等	・ビジネスマッチングの開催等により、企業の販路拡大、企業価値向上を支援します。	平成22年9月16日岡山総合展示場(コンベックス岡山)にて「第6回しんきん合同ビジネス交流会」を開催。全体で378社が参加。参加企業同士のマッチングの他、午後からはフリー商談会として一般来場者との商談、また地元百貨店・スーパー・ホームセンター等を招聘し参加企業との商談を実施、さらに各大学及び支援機関による相談コーナーを併設しました。当金庫からは12社が参加され3件の成約ができました。	
(2)各種団体との連携	・地域各種団体との連携・地方公共団体、商工会、大学等との連携を強化し、地域消費の向上や後継者育成、また地域振興・企業再生に向けた諸施策に積極的に関与します。また中小企業支援ネットワーク強化事業が展開されており活用に努めていきます。	従来から「岡山県中小企業家同友会」や「財団法人岡山県産業振興財団」と提携し特別融資制度を創設していましたが、農業分野を支援するため平成22年9月日本政策金融公庫農林水産事業本部と提携しました。23年1月には日本政策金融公庫補償の「アグリローン」の取り扱いを開始し農業分野への地域密着型金融を進めています。	
(3)多重債務者問題への対応等	・平成22年11月より「おまとめローン」は年収等の申し込み条件を緩和するとともにWEBでの受付を可能とするように改定、女性向けローン「さくらさん」も同時期にWEBで受付できるようにしました。お客様が利用しやすい形に随時変更を行っています。	消費者金融の円滑化を図るためにより利便性の高い商品提供を行い推進しております。主な消費者ローンの22年度末の利用残高は 1. びんカードローン「きゃっする」 2,274件 249,124千円 2. クイックフリープラン 229件 127,801千円 3. びんおまとめローン 13件 16,792千円 4. びんリィローン「さくらさん」 35件 10,781千円 となっております。	
4. 進捗状況の公表			
		当金庫のホームページにて進捗状況をご報告いたします。	